

平成 27 年度 宮島歴史民俗資料館連携企画展示報告

- 期 間：平成 27 年 11 月 10 日～12 月 13 日
- 会 場：宮島歴史民俗資料館
- テーマ：「知られざる宮島の魅力—大元神社と大元公園—」



宮島歴史民俗資料館と共同して、まだあまり知られていない宮島の魅力を発掘し、情報発信する連携企画展示をおこないました。平成 27 年度は大元神社と大元公園を取り上げ、戦国時代から現代まで、その歴史的・文化的価値を伝える関係資料約 40 点を展示しました。展示期間中、延べ 2,002 名の方が来場されました。

大元は宮島市街地の西端にあり、大元神社を中心とした大元川の川裾に開けた地域です。海岸線からモミの木を見ることができるなど、自然豊かな地域で、明治

時代以降は風情のある旅館やホテルなどが立ち並び、日本人だけでなく外国人観光客にも愛されました。ユネスコ世界文化遺産「厳島神社」（1996 年）の登録範囲の西端に位置します。



展示の関連事業として 11 月 15 日には大元神社と大元公園を散策するイベントを、18 日には宮島学センター公開講座「大元神社の祭神と宮島の町人—忘れられた町人の祈り—」（講師：松井輝昭 県立広島大学名誉教授）を実施しました。公開講座の後半では会場を宮島歴史民俗資料館に移し、企画展の観覧とギャラリートークをおこないました。

また、12 月 6 日には秋山伸隆宮島学センター長と大知徳子宮島学センター助教の引率による学生向けのフィールドワークをおこない、企画展示を観覧しました。

